

懸虹



公益財団法人 星総合病院

特集

野水整 総院長 × 渡辺直彦 病院長 インタビュー



ブロワの光 (F12、1993)
本名 欣二

- 沼田名誉病院長「瑞宝中綬章」受章
- 病院機能評価認定更新
- 新型コロナウイルスワクチン接種
- 世界禁煙デー
- こども事業部ニュース
- 絵画寄贈…本名欣二作品

【醫】

【靈】

新型コロナウイルス感染症の流行は、多くの人に健康不安を与えた結果、逆説的に以前よりも健康に関心を持つ方が増えているように感じます。我々の行う健康診断事業がその健康不安解消・健康増進の一助になればと思うのですが、当院の健診は、昨年（二〇二〇年）春の大規模緊急事態宣言に伴い数カ月間休止をさせて頂いておりました。当時健診は効率優先で詰め込み型になっており、どうしても3密状態を作ってしまうため、一旦休止して仕切り直すべきと判断しました。しかし休止後、多方面から早期の健診再開を望まれる結果となり、皆さまには大変ご迷惑をおかけしたと思っております。一部では「健診は不要不急である」との批判もあるのですが、やはり定期的な健康診断が皆さまの健康管理の一部となっていることを再認識いたしました。

現在では3密回避策等を講じて、より安心して受診頂けるように体制を整えて健診事業を再開しております。同時にその影響で以前より強く人数制限をさせて頂いており大変心苦しく思っております。今後当センターが本当の意味でより皆さまの健康管理の一助となる存在になれるよう、改善を続けて参る所存です。

健康管理センター長 水野 光仁



渡辺病院長

野水 整 総長院長



渡辺 直彦 病院長

インタビュー



野水総長院長



令和3年7月、星総合病院は野水整先生が病院長を退任し、総長院長に就任。病院長として新たに渡辺直彦先生が就任しました。

新体制となった星総合病院。お二人にこれまでのこと、そして新型コロナや地域医療についてお話を伺いました。

病院長の7年を振り返って

野水 あっという間の7年でした。東日本大震災を経て新病院に移転後、平成26年10月に木島先生（現特任病院長）から病院長を引き継ぎました。そのあと、台風による水害、そしてこの新型コロナということになりまして、大変な経験をしたというのが実感ですね。

新病院長としてのお気持ち


渡辺 素晴らしい実績をあげられた野水先生の後任に指名されて大変光栄に感じており、身が引き締まる思いです。少し年齢的に不安はあるのですが、これまでの経験を活かしまして、微力ではありますが、星総合病院のますますの発展に向けて全力をあげて取り組みたいと思っています。

地域医療について

野水 県中地域、郡山市の医療についてですが、一番大変なのは二次救急医療ですね。郡山市では、輪番制で二次救急を担っています（図1）。一見、うまくいっているように思うのですが、水害のときには当院が何週間か離脱したり、コロナの問題で長期間離れる病院が出たりと、その際は非常に危うい、綱渡り的なことを強いられるわけですね。ですから決して万全ということではなく、もっと多くの医療機関の協力が必要になると思います。県中地区、あるいは県南まで、この郡山市の医療機関が救急を担っているという現状がありますので、他の地区の医療機関にも救急にご協力頂けると非常にありがたいと思っています。

渡辺 県中や郡山に限らず、少子高齢化が進み高

齢者がかなり増えてきていると思います。高齢者というのは、多くの病気を持っていて、ひとつの診療科ではなかなか対応が難しくなっています。ですから、ひとつの診療科だけでなく、各診療科との連携、そういったものが今の医療でとても大切なことだと思います。また、病院のなかだけではなく、クリニックなど開業医の先生方との連携が、救急も含め、これからますます必要なことだと感じています。

段階	症状ほか	
三次救急	脳卒中など特に症状の重い患者 ■救命救急センター	重症・緊急度大  軽度・緊急度小
二次救急	入院や手術が必要な重症の患者 ■6病院が輪番制で担当	
初期救急	かぜ、発熱など比較的症状の軽い患者 ■休日・夜間急病センター ■在宅当番医	

（図1）

新型コロナについて

野水 感染症との闘いは、医療の宿命だと思います。福島県は、野口英世という感染症に立ち向かった大先輩の出身地ですので、それを考えると全県的にもう少し積極的に動いてもよかったのではないかと、と思っています。当然、コロナに対する医療というのは全力でやらなければならないことだと思っています。

渡辺 全世界的に大変な状況になっています。感染された方の入院治療、感染対策、ワクチン接種など、従来の医療に増して、大変な負担が医療従事者、そして国民の皆さんにかかっていると思います。医療現場としても大変な時期にいると感じています。

第一波がきたときはどのように感じていたか

野水 それはもう初めてのことで、どういう対応をしたらよいのか怖さを感じたこともありましたが、そのなかでもやっていかなくてはならないことが全ての面においてありました。やっていくしかないと思っていました。

渡辺 第一波のときは、私は公立小野町地方総合病院（以下小野町病院）に勤務しておりました。地方の病院だったので、郡山ほどの緊張感は当初なかったのですが、いろいろな話が入ってきて大変な状況になってきた、と感じていました。実際に小野町病院で発熱者を診たときにPCR検査をしましたが、結果を次の日まで待たなくてはならない、それまでどうしようと困ったことがありました。熱があるのに、一日自宅待機してもらい、陰性を確認後に入院させるなど、そういった難しい状況でした。その後、星総合病院が受入れを開始したことを聞いて、すごくほっとした、そういった思いでした。本当に助かりました。

現状、第四波までできていますが、いまの思いは

野水 病院として、対応の仕方はだいぶ慣れてきたと思います。ただし、逆にそれが「甘さ」になってはいけなかなと思います。注意喚起は必要で、特に大人数での会食や、不要不急の外出、県外への外出はもうしばらく控えたほうがよいと思います。

渡辺 私もそう思います。また、早くワクチンが普及し、集団免疫が確立され、季節性の



ウイルス感染症になってほしいなと思っています。

今後について

野水 現在、病院の職員、総動員でワクチン接種にあたっています。会食をしたり、旅行にいったり、もとの楽しい生活に戻れるように、「いま」を頑張りたいと思っています。

渡辺 院長としては、コロナ後の体制、それをいまから職員と一緒に考えて、取り組んでいきたいと思っています。

野水総長院長より渡辺病院長へ

野水 本当に大変なときに、渡辺先生が病院長になられてご苦労も多いかと思いますが、何とかここを乗り越えて、より良い将来のある病院にして頂きたいと思います。どうぞがんばってください。

渡辺 ありがとうございます。野水先生にも、まだまだサポートして頂ければと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。



新体制となった当院を今後ともどうぞよろしくお願い致します

沼田名誉病院長 「瑞宝中綬章」受章



令和3年春の叙勲において、星ヶ丘病院・沼田吉彦名誉病院長が「瑞宝中綬章」を受章されました。

沼田名誉病院長は、福島赤十字病院副院長、静岡県立こころの医療センター院長、福島県精神科病院協会会長、星ヶ丘病院の病院長などを歴任され、福島県の保健医療福祉の発展のけん引役として活躍されました。思いを伺いました。

瑞宝中綬章

日本の勲章の一つ。公共的な職務の複雑度、困難度、責任の程度などを評価し、重要と認められる職務をはたし成績をあげた人に対して授与される。

◇さまざまご苦労や想いがあったと思いますが、受章された今のお気持ちをお聞かせ下さい。

沼田 私よりも業績や貢献度があり叙勲にふさわしい方が数多おられるので、驚きと戸惑いを感じております。同時に、これまで私を支えてくれた周囲の皆さまのご協力とご理解のお陰と深く感謝しております。

◇先生は、精神科病院での臨床、公衆衛生、社会活動等、数多くの功績があつての受章と伺っていますが、特に、何が評価されたのでしょうか。

沼田 私は大学卒業後福島医大神経精神科で研鑽を積み、その後2つの病院を経て、平成18年からは現在まで星ヶ丘病院で一貫して精神科医療に従事して来たことが最も大きいのではないかと考えています。福島県精神科病院協会会長を2期4年間務め、県民の皆様の精神保健医療の向上に尽力したこと、福島県や福島労働局などの仕事を仰せつかり、厚生労働大臣表彰を受けたことも評価の対象になったのではないのでしょうか。

◇学会等他の分野での功績はいかがでしょう。

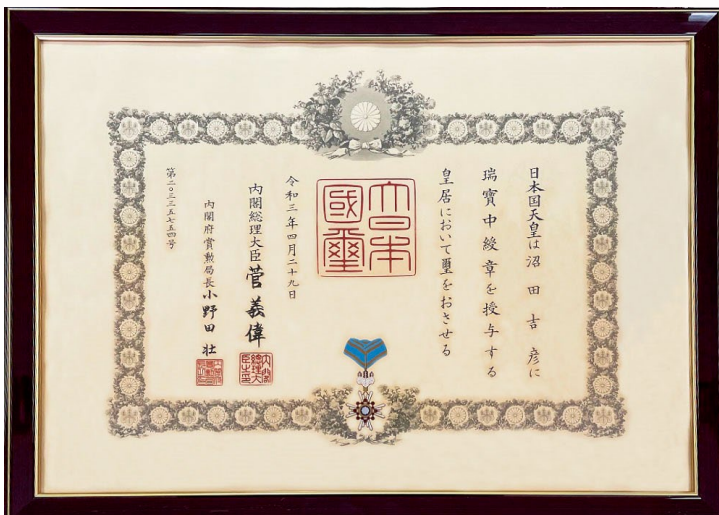
沼田 日本精神神経学会では評議員として精神科専門医の審査に、日本総合病院精神医学会では理事として精神保健指定医の資格審査等に携わってきました。また、日本精神科産業医協会理事や福島産業保健総合支援センター相談員などを拝命し、働く人のメンタルヘルスの保持増進にも力を注いでいます。

◇長年の医師としての人生を振り返つての想い、後進の方々へのメッセージを頂けますでしょうか。

沼田 医師になり約50年になりますが、多くの方から学びました。その時その時の出会いを大切に、職責を誠実に果たすことが肝要かと思ひます。

◇今後益々のご活躍が期待される沼田名誉病院長ですが、これからの抱負をお聞かせ下さい。

沼田 叙勲という素晴らしい章に恥じないように、微力ではありますが、これからも社会の為に貢献して参りたいと思っております。皆さまのご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



病院機能評価認定更新

病院機能評価とは、公益財団法人日本医療機能評価機構が行っている事業で、国民が安全で安心な医療が受けられるよう各項目に基づき病院の評価を行います。この度、当院は審査基準を満たした認定病院として5回目の認定を受けました。

病院機能評価受審を終えて

星総合病院
質改善・病院機能評価委員会 委員長 片方 直人

星総合病院では2021年3月4日、5日、日本医療機能評価機構による病院機能評価訪問審査（受審）が行われ、6月下旬に認定証が届きました。病院機能評価に対するこれまでの取り組みについてここにご紹介いたします。

病院機能評価認定は5年ごとの審査更新が行われ当院は今回5回目の認定（3rdG:Ver2.0）となりました。当院は一般病院2（主として、二次医療圏等の比較的広い地域において急性期医療を中心に地域医療を支える基幹的病院）の位置付けです。質改善委員会を中心として前回審査から5年半（コロナ対策のため半年遅れ）、受審に向けて準備を進めてきました。

受審に向けた事前準備こそ質改善のきっかけとなりました。院内内すべての領域について他職種とも議論を重ねながら現場の問題点を抽出し、これまで見過ごされがちであった院内施設環境の改善、曖昧であった院内ルールの明文化、現状に合わない規約の改訂等を進めました。また認定期間の中間には受審に即した自己評価を実施しました。自己評価を通して、医療の質の向上とサービス改善に向けた職員の意識向上につながったと思います。

受審では、第三者である評価調査者（サーベイヤー）の目線から、地域における病院の位置付けや病院の現状、組織全体の運営管理および提供される医療について客観的に評価、体系的な審査を受け、優れている点や改善すべき問題点が明らかとなりました。

症例トレース型ケアプロセス調査では、訪問病棟において症例患者の来院・外来受診、入院から退院までの一連の経過に沿って提供される医療サービスについて、症例患者に関わった全ての部門の職員がプレゼンテーションを行い当院のチーム医療を提示しました。そこでは病院で決定されたルールが診療・ケアで确实・安全に実施されているか、プロセス重視の審査が行われました。

審査の結果、病院機能評価認定が更新されました。結果は概ね高い評価となりました。

地域への情報発信と医療に関する啓蒙活動、薬剤管理機能の分野で2項目がS評価（秀でている）となりました。A評価（適切に行われている）は82項目、B評価（一定の水準に達している）は4項目、C評価（一定の水準に達しているとはいえない）はありませんでした。

社会が求める多様な医療ニーズは、時代とともに少しずつ変化しており、我々もそれに適切に対応していかなければなりません。今回の受審はゴールではなく新たなスタートとして今後も継続的に、医療を支える病院組織の一層の充実や医療の質の向上に取り組んでいきたいと思ひます。



訪問審査の様子

新型コロナワクチン接種

多くの病院職員が新型コロナワクチン接種に協力しています

集団接種…自治体が接種会場を設けて行う接種

星総合病院に隣接するメグレスホールにて郡山市の集団接種が行われています。

当院職員も協力し、円滑で安全な接種に日々努めております。

また近隣の三春町、田村市においても、各病院（星総合病院・三春病院・たむら市民病院）の職員が集団接種会場に派遣され、各自治体と協力しながら接種に当たっています。



職域接種…企業、大学等、職域単位で行う接種

各団体（企業、大学等）の職域接種に当院職員も協力しています。

7月までに約4,000名の方に1回目の接種を行いました。



世界禁煙デー ～イエローグリーンキャンペーンに参加しました～

5月31日は世界保健機構（WHO）が定める「世界禁煙デー」です。

イエローグリーンキャンペーンに星総合病院も参加し、病院の一部をライトアップしました。

イエローグリーンは『受動喫煙をしたくない、させたくない』という意思表示を表しています。

黄緑色のリボンやライトアップされた夜景を見つけたら、大切なご家族やお友達と、健康について語り合ってみてはいかがでしょうか。



福島県医師会作成バッジ



病院入口のライトアップ

☆こども事業部 News ☆

☆ 新しい保育園の建設が始まりました ☆

令和4年4月に開園予定の認可保育園（田村市船引町）の建設が始まり、現在、基礎工事が終了。新しい保育園の名前も田村市民の方に公募し決定する予定です。

今後、建設の進捗をお伝えしていく予定ですので楽しみに！



☆ 「親子ふれあい活動」好評開催中！～子育て応援プログラム～ ☆

今年度から月2回、増々パワーアップした内容で開催しています。ポイントカードも導入！年度末にはお楽しみが待っています。開催予定はチラシや病院ホームページをご覧ください。



4/10 ウルトラマン



5/8 お寺体験（三春町）

● 今後の予定 ●

- 8 / 21（土） 魚つかみ体験
- 9 / 11（土） スケート教室
- 9 / 25（土） 芋煮会
- 10 / 23（土） 火起こし
草滑り体験
スタンプラリー

☆ 大町キッズベースの年間企画「アクティブキッズベース」 ☆

第1・第3土曜日に小学生を対象に『楽しい・あそび場』として様々な体験活動を行っています。バスでのお出かけや、親子で一緒に陶芸や宿泊体験も予定しています。

お問い合わせは大町キッズベースへ。TEL：024-953-5401



☆ 100万人のクラシックライブを開催しました ☆

6/12（土）市内大町の阿邪訶根神社境内において「地域に繋がる・地域で育てる」をテーマに、ヴァイオリンとピアノの生演奏を楽しむイベントが郡山市の後援を受けて行われ地域の方、約100名が参加されました。

主催したのは、子どもと家庭に関する様々な相談に対応する児童福祉施設「ほしくま児童家庭支援センター」です。

今後のイベントにも是非ご参加ください！



絵画の寄贈

ほん 名 きん じ
本 名 欣 二
(1934~1995)



画歴

- 1934年 福島県郡山市に生まれる
- 1953年 林武氏・高橋忠弥氏に師事
- 1955年 青年美術家協会展(池袋・西武) 初同人会を開催
- 1960年 豊島区美術家協会会員
- 1963年~73年 銀座白牡丹・銀座夢土画廊にて個展
- 1977年 東京蒼穹社グループ展 毎年参加
- 1986年 サロンドパリ会員
- 1987年~89年 サロンドパリ会員展出品(FRANCE PARIS) サロンドパリ委員
- 1990年 平成美術大賞選考展・最優秀賞受賞(日本美術出版)
- 1991年 春の秀作展・最優秀賞受賞(芸術公論出版)
- 1994年 国際芸術祭・国際芸術大賞受賞(NEW YORK)
- ポール・アンビュ賞受賞
- 特別芸術功労賞(アートグラフ)
- 第一回麻布美術館大賞展・特別優秀賞受賞
- 第一回国際都市美術展(LONDON)
- 麻布美術館評議員となる

故本名欣二氏の奥様(本名陽子様)より遺作の絵画62点を寄贈して頂きました。
今回は、奥様の絵画への思いや寄贈に至る経緯などを、本名欣二氏の甥にあたる柏屋社長5代目本名善兵衛様にお聞きしました。

○絵画を寄贈頂いた経緯

本名欣二氏は画家を目指し、東京大塚にあった自宅内のアトリエで数多くの絵を描いていましたが、残念ながら60歳で他界。奥様(本名陽子様)から、このままだと残された絵画が世に出ないまま、何らかの形で分散してしまうので、絵を大切にしたいという相談を受けました。また、見て頂ける機会があるのであればなおさらありがたい、それが深い交友のあった星総合病院様であれば是非お譲りしたいという事でこの度の寄贈となりました。

その気持ちが絵に表れていると思います。
自宅のアトリエに行くと、ほほ笑んで迎えてくれたのが印象的です。
ワインを持っている姿などとても素敵でした。

○患者さんへメッセージ

人柄が表れている温かい優しい絵なので、それを見たことで心が癒され、安らぎを感じて頂けたら幸いです。

○絵画について

風景画は、南フランスのコートダジュールにあるピオットという小高い丘の古くて美しい街並みを描いたものがたくさんあります。(表紙「プロワの光」)

ガラス工芸などで知られる芸術の街で、欣二氏は好んでこの街を描いていました。

人物画は家族の絵が多く、ほとんどが奥様の絵だと思います。母と娘を描いた温かい作品も多々あります。

○人柄

まず怒ったところをみたことがない、本当に穏やかでロマンチストな方でした。



本名欣二さんの素敵な絵画は、星総合病院1階フロアに展示させていただきます。
ご来院の際には、是非ご覧ください。

ご意見をお聞かせ下さい。

ホームページアドレス
<http://www.hoshipital.jp>
発行/公益財団法人星総合病院
編集/法人広報部
発行日/令和3年7月
住所/〒963-8501
郡山市向河原町159番1号

公益財団法人 星総合病院

- 星総合病院
〒963-8501 郡山市向河原町159番1号
TEL 024-983-5511
- 星ヶ丘病院
〒963-0211 郡山市片平町字北三天7
TEL 024-952-6411
- 三春町立三春病院(指定管理)
〒963-7752 田村郡三春町字六升50番地
TEL 0247-62-3131
- たむら市民病院(指定管理)
〒963-4312 田村市横塚2丁目11番地
TEL 0247-82-1117
- ほし横塚クリニック
〒963-8803 郡山市横塚2丁目20番36号
TEL 024-956-7778
- 星訪問看護ステーション
〒963-8803 郡山市横塚2丁目20番36号(ほし横塚クリニック内)
TEL 024-956-2322

- サテライト星ヶ丘(星ヶ丘病院内)
TEL 024-962-1711
- サテライトしずか
〒963-0209 郡山市警備南5丁目18番地
TEL 024-983-6410
- サテライト三春(三春病院内)
TEL 0247-73-8270
- 介護老人保健施設オリオン
〒963-0211 郡山市片平町字三天2
TEL 024-952-6413
- 芳賀・小原田地域包括支援センター
〒963-8822 郡山市昭和2丁目17-2
TEL 024-941-1121
- 星総合病院在宅介護支援センター(ほし横塚クリニック内)
TEL 024-983-5515
- 居宅介護支援事業所星ヶ丘(星ヶ丘病院内)
TEL 024-952-6414
- 養護老人ホーム三春町敬老園(指定管理)
〒963-7752 田村郡三春町字六升50番地の1
TEL 0247-62-3618

- ポラリス保健看護学院
〒963-8501 郡山市向河原町159番7号
TEL 024-983-5511
- 大町キッズスペース
〒963-8001 郡山市大町2丁目3-26
TEL 024-953-5401
- ほしくま児童家庭支援センター
〒963-8001 郡山市大町2丁目15-2 ハート調剤ビル2F
TEL 024-983-8375
- ほしのこ保育園
〒963-8501 郡山市向河原町159番1号
TEL 024-983-5519
- 星ヶ丘保育園
〒963-0211 郡山市片平町字北三天7-3
TEL 024-951-0788
- 三春町第1保育所(指定管理)
〒963-7769 田村郡三春町担機1丁目4番地の1
TEL 0247-62-3539
- 三春町第2保育所(指定管理)
〒963-7719 田村郡三春町字山字泉沢100-1
TEL 0247-62-2748
- 船引保育所(業務委託)
〒963-4312 田村市船引町船引字下川原1-18
TEL 0247-82-0247